

受賞報告

熱源最適制御コントローラ「E-SCAT®シリーズ」 2022年度省エネ大賞製品・ビジネスモデル部門 資源エネルギー庁長官賞(業務分野)を受賞

一般財団法人省エネルギーが主催する2022年度省エネ大賞において『熱源最適制御コントローラ「E-SCAT®シリーズ」』が製品・ビジネスモデル部門資源エネルギー庁長官賞（業務分野）を受賞し、2023年2月1日に東京ビッグサイトで開催された「ENEX2023-第47回地球環境とエネルギーの調和展」にて表彰された。

同大賞は、事業者や事業場等において実施した他者の模範となる優れた省エネ取り組みや、省エネルギー性に優れた製品並びにビジネスモデルを表彰し、省エネ型社会の構築に寄与することを目的とした賞である。

近年の環境問題への意識の高まりにより、国際的に脱炭素化へ向けた取り組みが加速されている。日本国内でも、2020年10月の政府による「2050年カーボンニュートラル宣言」を受け、脱炭素社会に向けた省エネルギーの実現が求められており、技術開発が様々な分野にて活発に行われている。このような昨今の状況において、省エネルギーに関する取り組みを表彰する本大賞に対する注目は非常に高くなっている。

応募部門には省エネ事例部門と製品ビジネスモデル部門の2部門があり、製品ビジネスモデル部門の受賞は24件（経済産業大臣賞5件、資源エネルギー庁

長官賞5件、中小企業庁長官賞1件、省エネルギーセンター会長賞12件、審査委員会特別賞1件）となっている。

以下に受賞に際しての、事務局からの評価コメントを紹介する。

「本製品は、空調・熱源システムをトータルに制御するコントローラで、冷凍機、蓄熱、廃熱回収、再エネ利用、熱融通、CGSなど様々な空調・熱源の最適制御を行い、合計エネルギー消費量の最小化を実現する製品。

従来バラバラに制御されていた熱源機本体とポンプの・冷却塔などの補機類を熱源システム全体で制御する装置として、熱源コントローラ「E-SCAT」を開発した。通常、計装業者・機器メーカー系のコントローラは単体売りとなり、システム・制御内容に制限があるが、本製品は、多種多様な熱源システムについて、最大負荷から部分負荷時までの最適制御を行える汎用性に富むコントローラである。事務所ビル、商業施設、病院、データセンターなど様々な分野に導入され、導入前と比較し、平均30%の消費電力を削減しており、省エネに資する優れた製品と評価できる。」

今回受賞した資源エネルギー庁長官賞は経済産業大臣賞に次ぐ賞であり、E-SCAT®シリーズが省エネに資する優れた製品であると認められたことは非常に意義がある。今回の受賞を機に、今後もニーズに応じた技術開発を進めて、社内外への展開に弾みをつけて実績を伸ばすとともに、環境・社会に貢献していきたい。



図1 賞状



図2 資源エネルギー庁山田仁資源エネルギー政策統括調整官（左）と谷口昌伸社長（右）

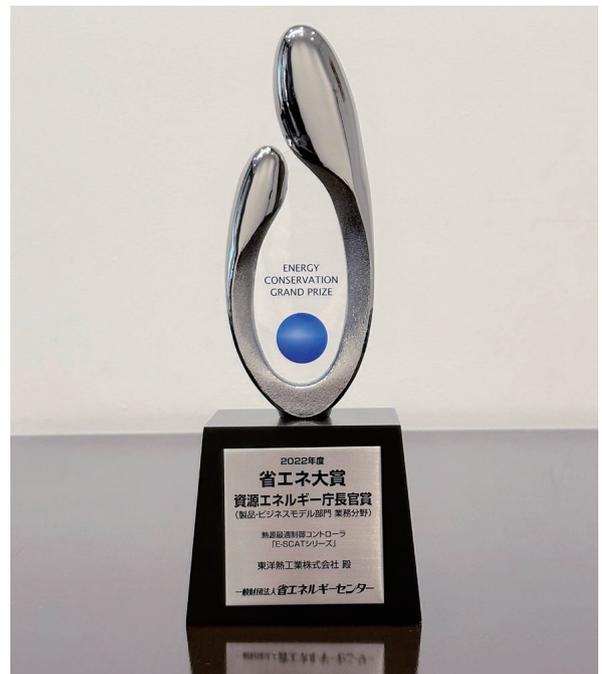


図3 受賞トロフィー